

第4巻 海と森と島の環境史年表

—北海道班と奄美・沖縄班

右代啓視@北海道班、
安溪遊地、安溪貴子、蛭原一平@奄美沖縄班

はじめに

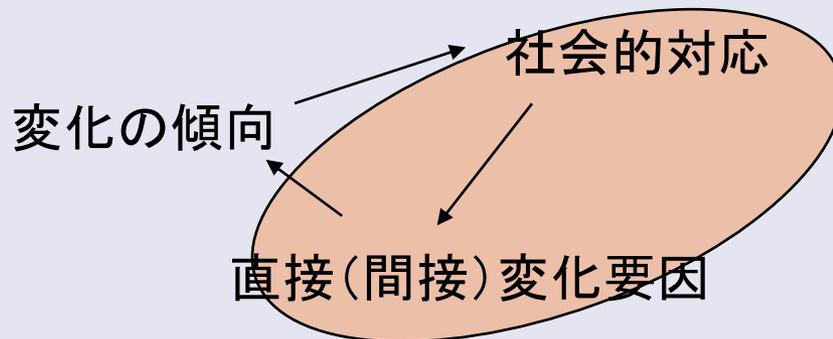
◎検証点の明確化

人間社会と自然環境との相互関係が急激に変化(=画期)



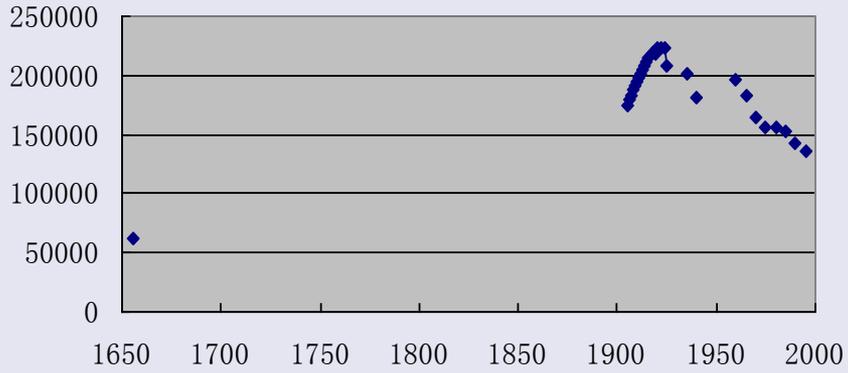
自然資源や土地を利用するため社会的に構築されていた秩序(=環境ガバナンス)がどのように対応(変化)してきたか？

→過剰利用など自然環境に対する人為インパクトの「増大」をコントロールできなかった要因を考える

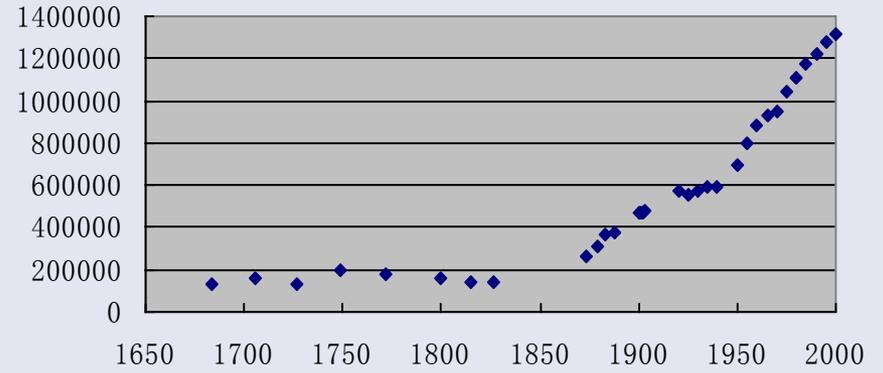


奄美沖繩の人口動態

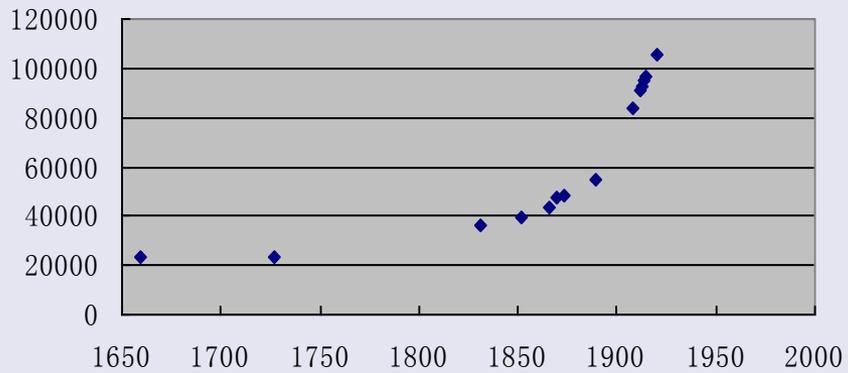
奄美群島



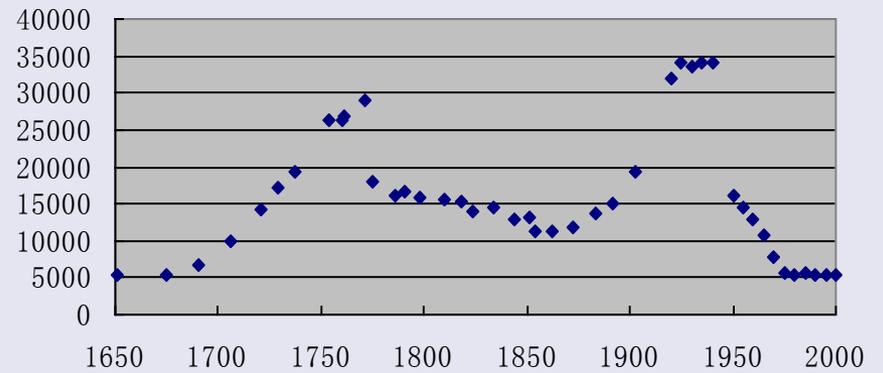
沖縄全体



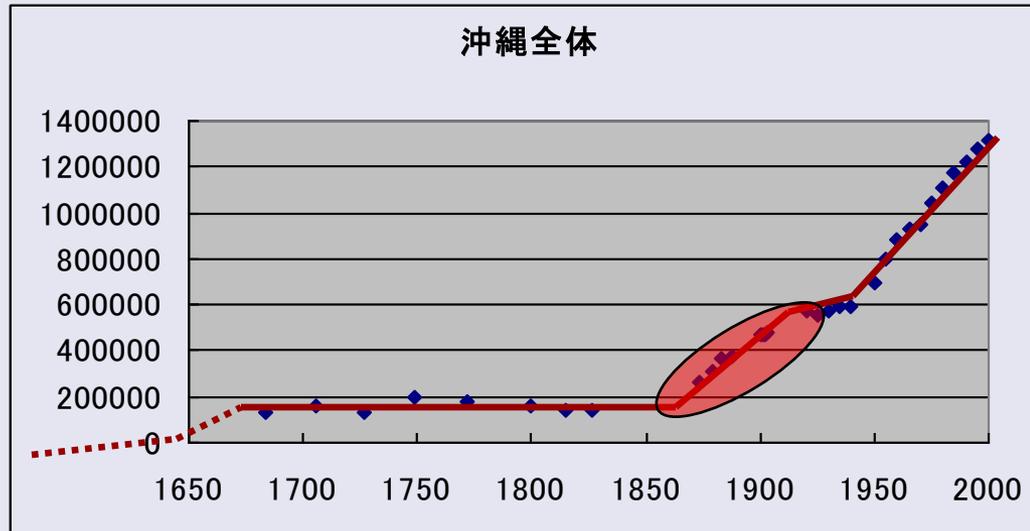
奄美大島



八重山



沖繩の人口動態



階段式の増加

2度の急激な増加期

(-近世? 1600年～1700年初頭、約2倍)

-近代1850～1930年頃まで、約3倍

1700年代初頭の画期

◎17世紀の沖縄島での森林減少と育成政策（三輪さんの研究）

交易の縮小（明朝の凋落）と薩摩の支配（石高制への編入）



国内自給経済の確立→羽地仕置・開墾奨励、砂糖増産



耕地面積の拡大、人口増大（2倍）、流通の拡大



森林資源への圧力

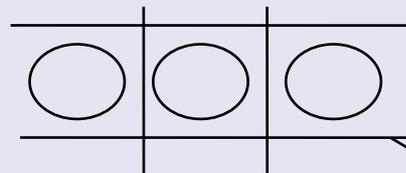


+羽地大川での大洪水、丑年の大飢饉

蔡温の林政（森林育成、伐採の禁止）+ 杣山設定



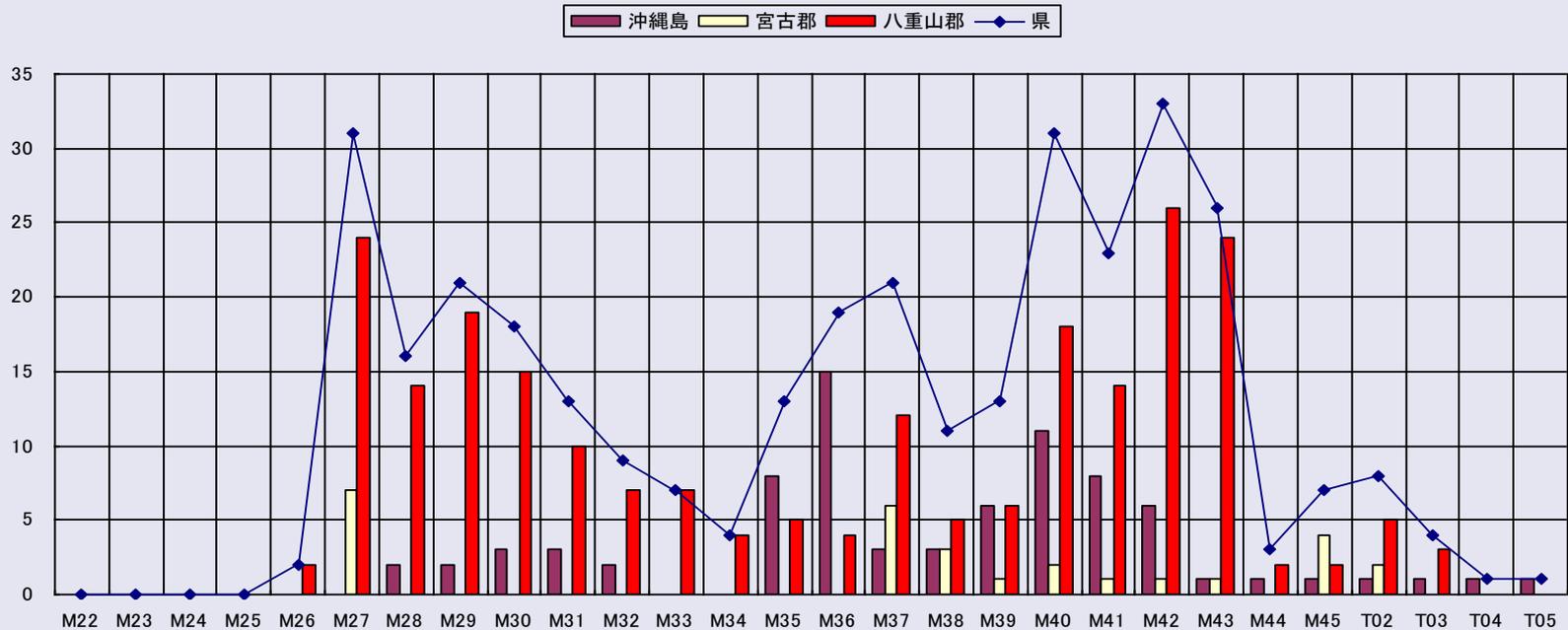
シマレイヤー



王府レイヤー

画期(明治国家へ統合)

◎ジュゴン地域個体群の絶滅(当山さんの研究)



《八重山地方》

貢納品として新城島民のみ捕獲が許されていた
廃藩置県十人頭税の廃止、商品化

1893(明治26)年～1916(大正5)年までの間で二百数十頭を捕獲
→ほぼ絶滅

近代における海産資源の利用の変化（糸満漁民の例）

◎糸満漁民によるサンゴ礁資源の乱獲（渡久地さんの研究）

王府時代 釣り漁（鱧やイカ）と採貝目的の潜水漁
＋鮮魚需要の拡大



M23年頃 廻高網（ム口網、アギヤー）の考案（←水中眼鏡）
＝効率的な漁法



サンゴ礁域での漁獲量の減少の一因

北海道環境史年表の検討

- **北海道スケール**: 古環境と先史文化

Key words: 気候変動、火山噴火、遺跡の変動、先史文化の変遷、アイヌ文化の成立過程

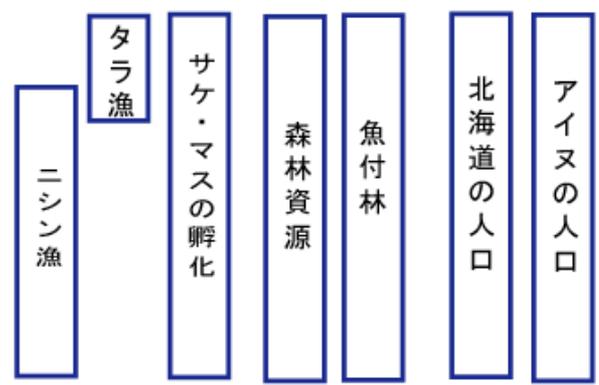
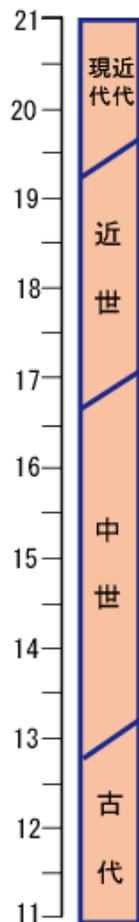
- **テーマ・スケール**: 蝦夷地から北海道

Key words: ニシン漁、タラ漁、サケ・マス人工孵化、森林伐採、魚付林

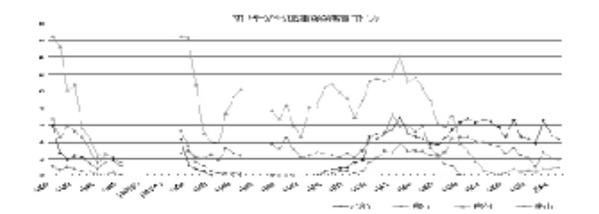
- **資源利用史**: 北海道史の特殊性

Key words: アイヌ民族史、松前藩、開拓使、地方行政の成立、地下資源利用(特に石炭)

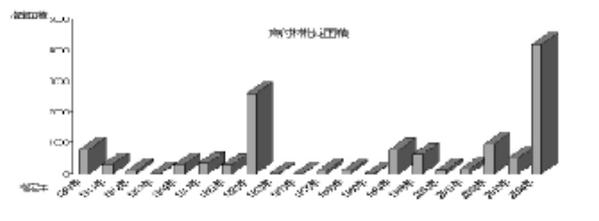
□年代(A. D.) □海の資源 □森と島の資源 □人口の推移 □資源利用史



- ・石炭から石油の利用
- ・鯨漁の終焉
- ・第一・二次拓殖計画
- ・旧度人保護法の公布
- ・化石燃料の採掘
- ・開拓移住政策
- ・屯田兵制度
- ・北海道開拓の開始
- ・クナシリメナシの戦い
- ・場所請負制度
- ・シャクシャインの蜂起
- ・ゴールドラッシュ
- ・商場知行制
- ・松前藩の交易権の独占

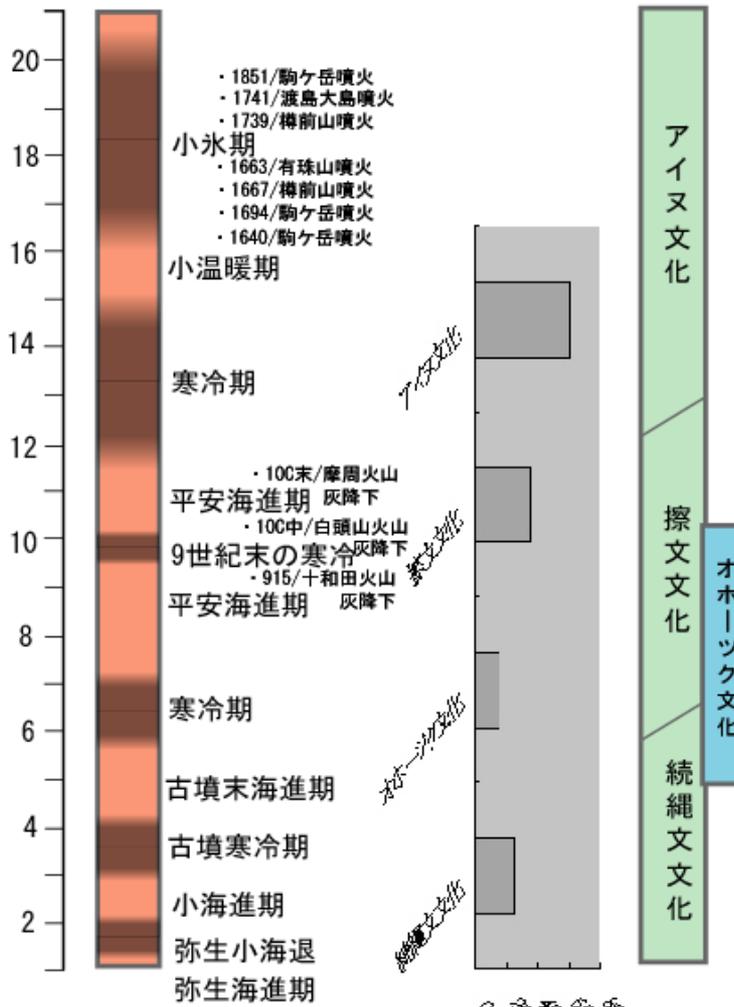


- ・コシャマインの蜂起
- ・道南に館主の出現



テーマ・スケール

□年代(A. D.) □気候変動 □遺跡の変動 □先史文化

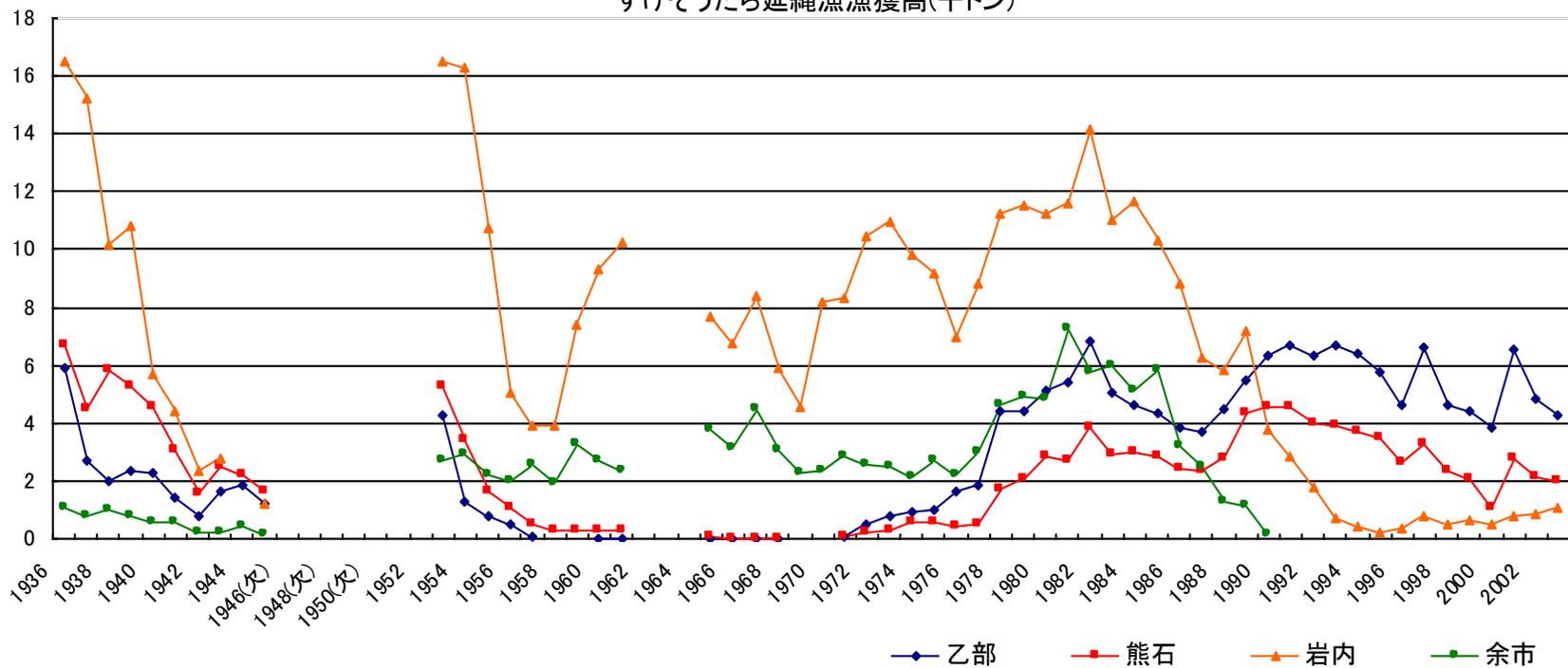


A. D. /B. C

北海道スケール

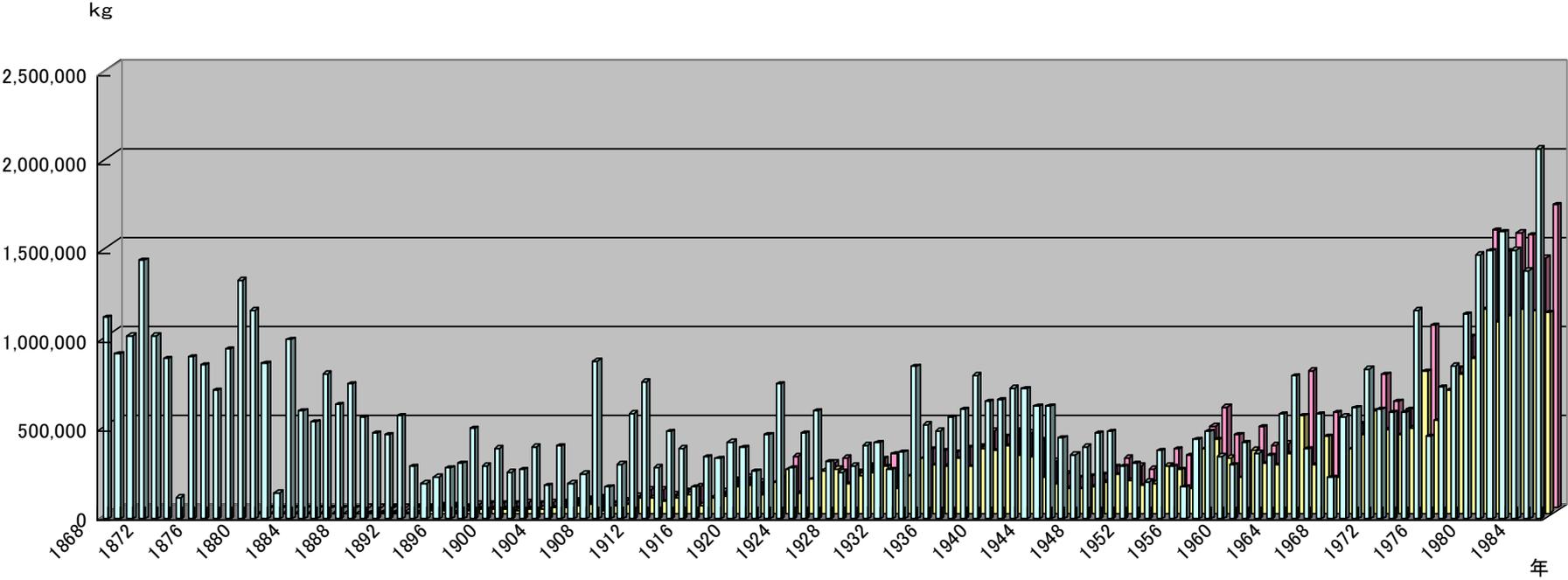
日本列島スケール

すけそうだら延縄漁漁獲高(千トン)

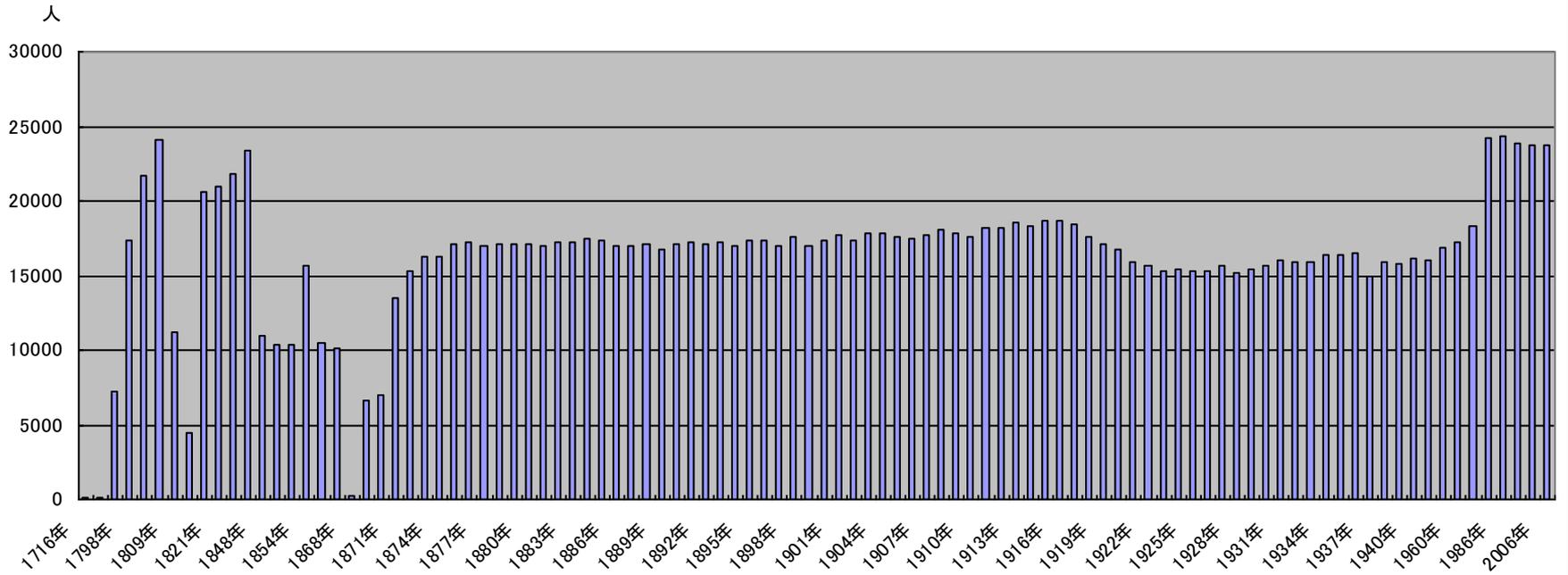


サケの捕獲と採卵と放流

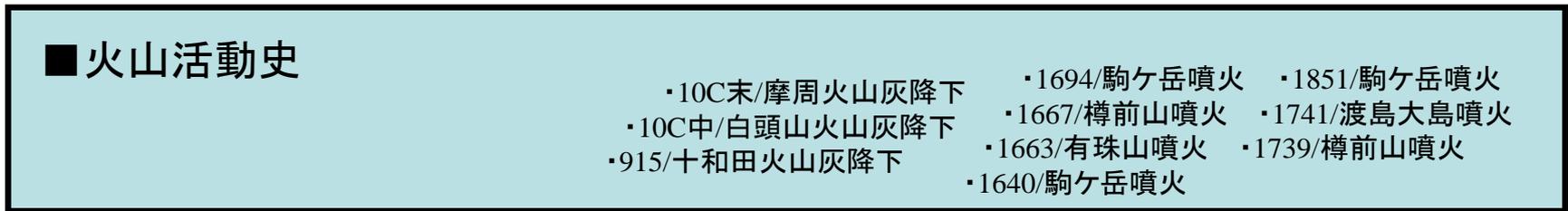
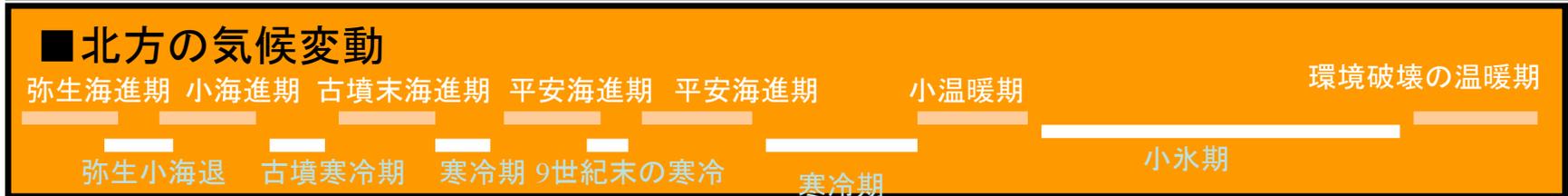
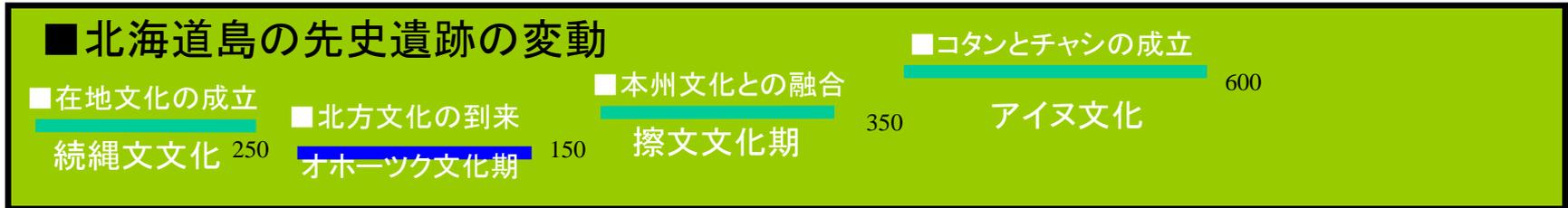
□ 捕獲 □ 放流 □ 採卵



アイヌ民族の人口推移



第4巻「海と森と島の環境史－北海道班－」(1)



ガ
ハ
ナ
ン
ス



第4巻「海と森と島の環境史－北海道班－」(2)

■ 森と島の資源－北海道島の森林資源－

- ・ゴールドラッシュと森林伐採
- ・ニシン漁の隆盛と森林伐採
- ・北海道開拓の開始

・ 森林伐採～森林保護

- ・化石燃料の採掘と坑木材
- ・石炭から石油の利用

■ 森と島の資源－魚付林－

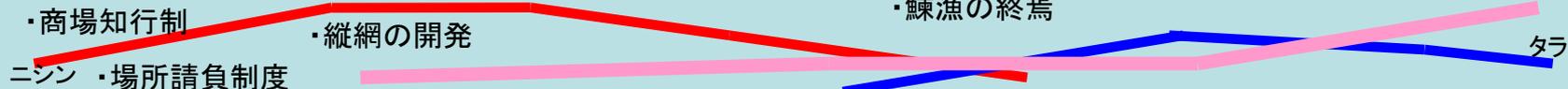
・ 海洋資源の再生と保護

行政補助型魚付林 現代型魚付林



■ 海の資源－ニシン漁・タラ漁・サケ漁－

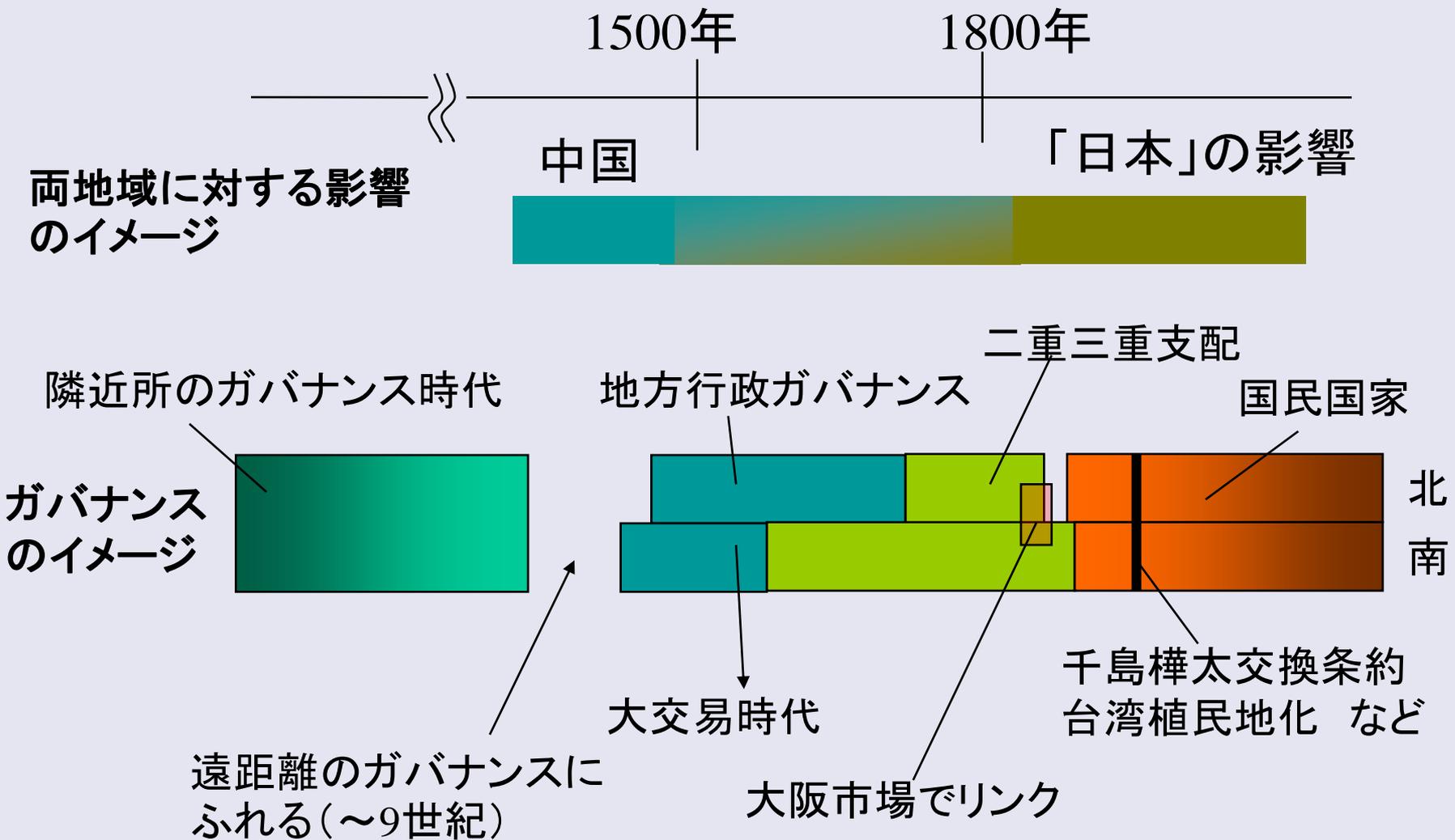
・ 海洋資源の生産



■ 北海道島人口[アイヌの人口、和人～日本人]

・旧土人保護法の公布

北と南の環境史の響き合い



(配付資料参考)